



令和元年度 学校版環境 ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
	山鹿市	山鹿市立菊鹿小学校

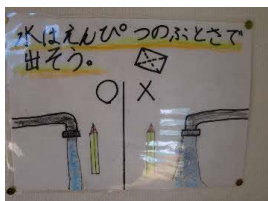
1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 	<p>菊鹿小学校は、今年度、学校が統合し4年目を迎えている。本年度も、これまでの取組を大切にしながらも見直しを行い、改善を図った。まずは、児童の身の周りに目を向け、身近なところから始めることにした。そこで、以下のように本年度の宣言を設定した。</p> <p>【児童の宣言】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 省資源に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水はコップやバケツに入れて使い、むだ使いしません。 (2) アルミ缶集めを行い、リサイクルをします。 2 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 電気のスイッチをこまめに切ります。 3 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) そうじやボランティアを一生懸命にします。 (2) 花いっぱい、緑いっぱいの学校にします。 (3) 学年に応じて、環境学習を行います。 <p>【職員の宣言】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 省資源・リサイクルに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 裏面利用や両面印刷し、紙の消費量を削減します。 (2) ごみの分別に努めます。 2 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 照明のスイッチをこまめに切り、消費電力を削減します。 3 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校地・校舎の美化に努めます。 (2) 各学年の栽培体験活動に積極的に取り組みます。 (3) 学校の環境への取組を家庭・地域に伝えます。

行動



マフニローマン



1 学校全体での取り組み

(1) ボランティア活動

今年度は、月・木曜日の朝 15 分間学校全体でボランティア活動に取り組んでいる。各教室や廊下、靴箱や学級園など児童自ら掃除場所を見つけ進んで掃除を行っている。ボランティア活動がない日でも朝や昼休みに進んで落ち葉拾いや草取りをする児童が増えている。

(2) 縦割り班掃除

掃除の時間には、異学年による縦割り班掃除を行っている。学校全体での掃除の合い言葉は、「すばやく」「無言掃除」「時間いっぱい」としている。縦割り班で掃除を行うことで、異学年での協働の精神を養うことができている。また、上級生が下級生に掃除の仕方を教えることにより、上級生としての自覚が高まり、下級生は掃除の仕方が身につくなど相乗効果が見られる。月の終わりには、各担当の先生方に評価をしていただき、掃除が素晴らしい児童に、「おそうじマスターカード」を渡し児童の掃除への意欲が高まってきている。

2 環境委員会の取組

環境委員会では、学校版環境 I S O 宣言に関して、次のような取組を行った。

(1) そうじコンクール

自分たちの掃除を見直す機会として、「そうじコンクール」を行った。環境委員会がそれぞれ分担して各掃除場所のチェックを行い、その結果を昼の放送で報告したり、児童集会で表彰したりした。

(2) アルミ缶集め【月 2 回】

毎月第 1・3 水曜日には、環境委員会を中心にアルミ缶回収“アルミ缶ウエンスデー”を行った。前日に放送で知らせ、当日の朝、児童昇降口で回収した。楽しみながらリサイクルの意識を高めることができ、収益金で図書室にアルミ缶文庫コーナーを設け、リクエスト本を揃えていくことを計画している。

3 節水の取組

水の無駄遣いをなくす意識を高めるために、宣言項目に次の 2 点を掲げ、全校で取り組んだ。

- ・掃除でぞうきんを使用するときは、必ずバケツを使う。
- ・水道から水を出すときはえんぴつ 1 本分の量で出す。



このような取組を行うことで一人一人が節水を心がけることができた。

4 節電の取組

授業等で教室を使用している時以外や掃除の時間・休み時間には、消灯に取り組んだ。また、児童は天気により明るさの調整を意識したり、電気をつける必要がないときには消灯したりすることが定着してきており、節電の意識が高まってきている。

5 印刷用紙リサイクルの取組

印刷する枚数により、プリンターか印刷機かを選ぶようにし、必要最小限の枚数を印刷するようにしている。ミスプリントの用紙は、サイズと種類別に分別して保管するようにし、職員配布用として使用している。ミスプリントの裏を利用することで、紙の使用量を減らしている。

6 各学年での取組

(1)環境学習

5年生では、水俣病や水俣の環境をよくする取組、環境問題等について学習した。県の事業である「水俣に学ぶ肥後っ子教室」とおとして、水俣の公害の原因や影響、水俣市の環境再生に向けた取組について学習した。学んだことは、人権集会で発表し、全児童へ発信し、全児童で考える場とした。

(2)サクラソウで校内・地域を花いっぱい

環境委員会では1学期より昨年のサクラソウのこぼれ種を栽培し、400鉢ほどの花を育て、学級園や教室、玄関などに飾り、花いっぱいの学校にすることができた。校区内の中学や保育園、老健施設、公共施設や地域の施設や来校者、ゲストティーチャーへも感謝の言葉を添えて100鉢以上プレゼントした。今後は、卒業式や入学式などの行事でも活用していく。

(3)地域の取組に参加

長期休業中に児童は、それぞれの地区で美化活動を行った。通学路や自分の住んでいる地域全体のゴミ拾いをはじめ、神社などのそうじなどを行った。

見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、昨年度との比較をもとに、節水、節電に向けた目標数値を見直した。 ・アルミ缶回収では、今年度は月に2回行ったが、総重量は70 kg（1月末時点）であった。次年度は、回収日を増やしたり、放送や様々な手段を使って各学級へ呼びかけを行っていく。
-----	---

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○学校全体での取組 学校全体でボランティア活動や縦割り班掃除に取り組むことで、学校をきれいにしようとする児童の意欲を高めることができた。</p> <p>○環境委員会の取組 自分たちの身の回りを振り返り、できることを考えながら、活動することができた。特に、サクラソウの栽培に関しては1人1人が責任を持ち、栽培活動に取り組み、地域の方へのプレゼントする活動を通して、達成感や人に喜んでもらえる喜びを感じるようになってきた。</p> <p>○節電・節水の取組 節電については、天気に合わせて照明の使い方ができるようになってきた。人がいない教室での消灯は定着しつつある。 節水については、「鉛筆の太さ」の出し方で使う意識が定着してきた。歯みがきや掃除の場面で、節水の意識を高めていくことができた。</p> <p>○印刷用紙リサイクルの取組 2台のプリンターのうちの1台は、常時裏紙を入れて使用するよう改善した。</p> <p>○PTA・地域とともに 資源回収や地域の花植え、清掃活動に児童も一緒に取り組むことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語などの時数が増え、授業の時数確保のために、掃除の時間が週3回になった。習3回の掃除の質を上げるとともにボランティア活動を一層推進していきたい。 ・具体的な目標数値を設定し、児童がより主体的に活動できるようにしていく必要がある。サクラソウの栽培に関しても、言われたことはきちんとやれるので、今後は自分から創意工夫した活動や児童のアイデアを活かした環境美化を創り出していく必要がある。 ・「電気の消し忘れゼロ」までには至っていない。環境委員会の取組の1つに加え、児童が主体的に行動できるための工夫を考えていく必要がある。 ・掃除の時は節水のため、バケツを使うことになっている。1年生は初めてのことで分からない部分もあるので、節電・節水について年度当初に学校全体で確認する場を設ける必要がある。 ・学校内だけではなく、地域の環境にも目を向け、PTA・地域の人たちとともに活動できる取組を考えていくことで、さらに環境美化・環境保全の意識が広がると考える。